



標茶町長  
池田 裕二

皆様にはご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から2年10カ月、今なお多くの被災者が、困難な生活を強いられており、一日も早い原発事故の収束と復興、平穏な日々が取り戻されることを願っています。

ねじれの解消と決められる政治を選択した結果、今年は「又新しい首相と共に新年を」と繰り返さずすみましたが、決して白紙委任したわけではなかったとの声が聞こえ始めています。

昨年は、「富士山」の世界文化遺産登録や2020年のオリンピック、パラリンピックの東京開催、又高級感を誇る著名ホテル等での全国的な食材偽装事件発覚後ではありましたが、「和食」の世界無形文化遺産登録決定と久方ぶりに明るいニュースが相次ぎ、アベノミクスのトリクルダウンに期待するだけでなく、少しばかり自信を取り戻せたような、未来を楽観視できそうな高揚感を覚えました。

一方、春先の暴風雪、道東を除く全国での記録的な猛暑、ゲリラ豪雨や台風の影響も数多く、甚大な被害が発生し、自然の猛威を思い知らされた一年でもあり、命を守る行動を最優先に特別警報の発令が開始されました。本町でも台風等により、道路決壊等被災しましたが、なんとか雪が降る前に生活網の確保をと、業

者の皆様のご協力を頂き復旧に努めました。改めて、クローラーなしで眠れ、安全に暮らすことができることに感謝しています。

頻発する異常気象の誘因とされる温暖化は人間の活動が原因と報告され、警鐘が鳴り始めています。

今私たちが享受している豊かさは大量生産・消費・廃棄、言い換えれば、未来にゴミを捨てることに他なりません。「受け継いできたはずの」もったいない、「足るを知る」という文化まで捨て去って良いとは思えません。

本町にとって現下の最重要課題であるTPPは、どんなに言い繕っていても、国境を越えて利益を追い求める企業にとつての障壁を取り除くことが目的であり、原則関税撤廃を目指すものです。世界中の国は、その成り立ちや拠って立つ基盤、自然条件等同じではありません。問われているのは、違いを認め合い、足りないモノを補い合うことであり、共に生きていくために、歴史から学んだ英知を集め、有限な資源の効率的な活用を図っていくことだと思えます。それぞれの地域には、自然に向き合い、折り合いながら食料を生産することを守ってきた暮らしがあり、風土に根差した伝統・文化があります。あらゆるモノを商品として市場に委ねることに疑問を感じます。本町への影響は余りに大きく、これからも断固として反対を続け、同時に、消費者に安心して買ってもらえる生産に取り組んで参ります。ご理解ご支援をお願い致します。本年が皆様にとって平穏で幸多い年でありませう、心よりご祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 年頭のあいさつ

一町議会を代表いたしましたして、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

町民の皆様におかれましては、平成26年の健やかな元旦を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、昨年中は町議会の運営に對しまして、ご提言、ご支援を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月に道東、道北地方などが暴風雪に見舞われ、痛ましい災害事故がありました。

また、6月から8月にかけての道内は、高温多雨の日が続ぎ、ゲリラ豪雨の多発などで、降水量も観測史上最多となり、その後の、台風25号では、突風被害により、牛舎やハウスが倒壊するなど、予期せぬ自然災害が発生した年でもありました。

本年度も、災害時の安全性確保のため、平常時から万一を想定し、情報の発信と迅速な対応ができるよう取り組んでまいります。

一方、一昨年の国政選挙の結果、政権与党が変わり、デフレ脱却と雇用対策、消費税増税、原子力発電所稼働の是非をはじめ代替エネルギーへの展望、TPP（環太平洋経済連携協定）への対応、道州制問題など、今後の国のあり方を考える大きな転換期となり、現在も、その真只中にあると感じております。実感としての具体的な地方経済対策、雇用創出の政策等による景気対策が、地方自治体に波及することを期待するところであります。

とりわけ、本町議会として基幹産業を守る観点から、TPP交渉への参加反対を強く要望して参りました

が、新政権は足腰の強い農林水産業の構築を政策としており、国内農林

水産業の再生を優先すべきと判断し、本町議会においては、交渉参加について引き続き強く反対してまいります。

今年度も厳しい財政運営の中での予算編成となること予想されますが、農林水産業や商工業の振興、子育てや高齢化時代に向けての福祉施策の拡充、教育施設の環境整備などの課題が山積しており、町民の負託を受けた私も議会議員は、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は町民の皆さんであることを第一に協働のまちづくりを目指し、努力して参ります。

また、昨年12月定例議会におきまして、改選時に向けて「標茶町議会議員定数等調査特別委員会」を設置致しました。新しい時代にふさわしい議会のあり方について議論を重ね、さらなる議会改革と運営に努めてまいります。

どうぞ、本年も変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げますと共に、町政・町議会にこれまで以上に関心を持っていただき、皆様の積極的なご意見等を寄せていただきますようお願いします。

新しい年が皆様にとりまして、また標茶町にとりまして、素晴らしい年でありませうに心からご祈念申し上げます。

挨拶とさせていただきます。



標茶町議会議長  
平川 昌昭

第4回定例町議会において、平成25年度の補正予算が可決されました。一般会計の補正予算は病院会計への負担金補助金、育成牧場関係経費、道路台帳補正業務、除雪対策などで、2億459万7千円を追加し、予算額は106億3千134万1千円となりました。

そのほか各会計の補正予算額および一般会計の主な補正内容は次のとおりです。

# 補正 予算

## 平成25年度 標茶町各会計予算の概要

(単位：千円)

会計別		補正前予算額 (A)	12月補正額 (B)	補正後予算額 (C)=(A)+(B)
一般会計		10,426,744	204,597	10,631,341
特別会計	国民健康保険 事業事業勘定	1,261,459		1,261,459
	下水道事業	732,980	25	733,005
	介護保険事業	1,423,177	△ 9,532	1,413,645
	後期高齢者医療	100,390		100,390
合計		13,944,750	195,090	14,139,840

### 企業会計

病院事業	歳入	1,216,228	△ 12,035	1,204,193
	歳出	1,311,285	△ 13,007	1,298,278
上水道事業	歳入	104,087		104,087
	歳出	150,472		150,472

### 主な補正予算

区分	主な補正予算	事業費	内容
総務費	市町村単独補助路線維持費補助金	916	
民生費	介護保険事業特別会計繰出金	△ 9,996	
衛生費	療養給付費負担金	△ 17,013	
	病院事業会計負担金・補助金	99,765	
農林水産業費	育成牧場経費	30,830	賃金、飼料費ほか
	森林整備地域活動支援事業	△ 14,260	
土木費	道路台帳補正委託料	4,460	
	除雪対策	104,794	
諸支出金	下水道事業特別会計繰出金	△ 2,862	